

これでいいわけない!

# 他会派の異常！ いのちと暮らしの問題に反対 戦争する国づくりには賛成

○=賛成 ×=反対

日本共産党が提出した意見書	結果	他会派	日本共産党
ただちに原発ゼロへの決断を求める	否決	×	○
2014年4月からの消費増税の中止を求める	否決	×	○
寡婦控除を非婚の母子家庭まで適用することを求める	否決	×	○

他会派が提出した意見書	結果	他会派	日本共産党
憲法改正議論の促進を求める	可決	○	×
伝統的家族の価値観を守る施策の促進を求める	可決	○	×
領土・領海・領空に関する正しい知識を次世代に伝える教育を求める	可決	○	×

住民から提出された請願・陳情		結果
要支援の保険外しや要介護1・2の特養ホーム入所除外の撤回を求める	特養ホーム入居待機者家族会	× 不採択 共産党を除く 各会派は反対
「秘密保護法」制定に反対する意見書の提出を求める	石川憲法会議 他5団体	
TPP交渉の内容開示と交渉からの撤退を求める	農民運動 石川県連合会	
子ども・子育て支援制度の現場の声を反映した議論と行政責任を果たすよう求める	石川保育運動連絡会 保育労働組合	



# 本市の公共交通政策



### シルバー定期券助成

**市長昇**  
月6千円の負担は大きい！

高齢者の外出支援、高齢ドライバーの運転免許返上促進のために始まったこの制度の発足を理由に、老人福祉センター利用の切符が廃止されました。シルバー定期券は昨年1万1千人の方が利用されていますが、「もつと銭湯や老人福祉センターへ行きたいが、月6千円の負担は大きい！」との声が多く、拡充を求めます。

**市長昇**  
まずは利用の促進に努めることが大切であり、当面制度拡充は考えていません。

### パーク・アンド・ライド方式

**市長昇**  
GW時のパーク・アンド・ライド方式の中止はなぜ？

GW時には、外環道路の整備等により実施しないとのことですが、パーク・アンド・ライドは本市の交通施策の柱です。それを外していくのでしょうか？

アクセスの多様化、ナビの発達、渋滞の緩和等により、代替策で可能とした。通勤時・休日は今後も推進し、公共交通優先のまちづくりを堅持していく。

この他、新設された尾山神社前立体駐車場の安全対策について市長の考えをたどりました。

公共交通優先のまちづくりを後退させるのか

金沢市は岡市政時代より、公共交通優先のまちづくりを進め、マイカー乗り入れ禁止政策のあと、香林坊・武蔵の地下大型駐車場建設で矛盾を生み、その後は、「歩行者・公共交通優先のまちづくり」を条例を定めて推進してきましたが、このところ、「パーク・アンド・ライド」や駐車場整備等の政策が消極的になっていっているように見受けられます。

GW時のパーク・アンド・ライド方式の中止はなぜ？  
GW時には、外環道路の整備等により実施しないとのことですが、パーク・アンド・ライドは本市の交通施策の柱です。それを外していくのでしょうか？

月6千円の負担は大きい！  
高齢者の外出支援、高齢ドライバーの運転免許返上促進のために始まったこの制度の発足を理由に、老人福祉センター利用の切符が廃止されました。シルバー定期券は昨年1万1千人の方が利用されていますが、「もつと銭湯や老人福祉センターへ行きたいが、月6千円の負担は大きい！」との声が多く、拡充を求めます。

市長昇  
まずは利用の促進に努めることが大切であり、当面制度拡充は考えていません。

## 女性市議5人が立案 男女共同参画都市宣言を決議！

### ◆男女共同参画都市宣言◆

私たちのまち金沢は、市民一人ひとりが、歴史と伝統に学び、個性豊かな風格と活力のあるまちづくりを進めてきた。

すべての人が性別にかかわらず尊重される社会の実現のためには、市民一人ひとりが互いの違いを認め、あらゆる分野に平等な立場で参画する機会が確保されるとともに、国際社会における取り組みと協調し、連携を深めていくことが重要である。

よって、私たちすべての市民は、次代を生きる若者や子供たちが個性と能力を発揮できる未来とすため、男女共同参画都市となることを宣言する。

この宣言は5人の女性市議が会派を超えて立案し、半年間練り上げたもので、3月8日の「男女共同参画フォーラム」で宣言されます。経済大国日本の男女格差は、なんと136ヵ国中105位。従来からの賃金等の社会的格差に加え、非正規労働やブラック企業に苦しむ若者たちの貧困の広がり、女性にとっても一層深刻さを増しています。この宣言が、言葉だけの理想に終わらぬよう、誰もがあたりまえに暮らせる社会をめざして、しっかりと活かしていくことが求められています。

## 金沢市の水道料が高い原因は 県水受水契約にあり！

### 12月議会 県は受水量引下げを発表！

本市の水道料が高い原因は、県水受水契約により、自己水単価の3倍の高い県水を設定水量の7割買収するという「責任水量制」にあります。この間、日本共産党は、責任水量制や単価の見直しを一貫して求めてきました。水道事業が利益を上げているにもかかわらず、料金値下げは見送られました。貧困が加速する中、生活保護受給者等への水道料減免は、わずかに42世帯で、他都市に比べあまりにも冷たい。そんな中、12月の県議会で知事は、各市町村に供給する責任水量を引下げる方針を固めました。歓迎する各自自治体には「設備費にしたい」とする声が多いようですが、わが党としては、金沢市においてもぜひ水道料引下げに反映し、量だけでなく単価引下げを検討することを要望していきます。

## 震災復興道半ばでの 4月からの消費税8%への 引上げは中止せよ！

東日本大震災・福島原発事故以来、アベノミクスのかげ声は大企業・富裕層のみが恩恵を受け、国民の生活環境はむしろ厳しくなっています。こんな時期に政府は、4月からの消費税8%への引上げを合意し、税制大綱を発表。自動車取得税を軽減する一方、軽自動車税を増税し、消費税10%時の軽減税率の時期もあいまいのままです。大綱では新たな増税の検討を進める内容となっており、大企業に手厚く庶民には冷たい姿勢が怒りを広げています。「消費税は社会保障財源！」と政府が言い訳しても、医療・介護・年金など社会保障一体改善が進んでいないため、国民はそのごまかしを見抜いています！この時期の増税は、家計と地域経済を冷え込ませ、壊滅的な打撃を与えることは必至です。

## 全国学力テスト (全国学力・学習状況調査)



学校・地域の競争・序列化を生む  
学力テストの実施と結果公表をやめよ！

学力テストは、当初から学校・地域の順位争い、序列化を心配する声が多く、中止を求める声が強くなりました。これを背景に一時期、学校別の成績公表を禁じていたものが、再び公表解禁へと進んでいます。誰もが子どもの学力向上を期待するものの、学力テストが点さえ良ければよい、結果が学校の教員・子どもを評価する物差しとなる傾向は否めません。実際に、テストのための予備学習、点数の悪い子の排除などの問題が生まれています。テストで把握できるのは、子どもの能力の一部です。テストによって可能性の芽を摘むべきではない。実施と公表をすべきではないと考えます。欠かせないのは、30人学級(少人数学級)など、ゆとりある教育のための教員配置です。

**市長昇**  
学力テストは、児童・生徒が日頃身に付けなければならない資質・能力を調査するもので、結果公表については、競争・序列化が生じないように適切に対応していきたい。30人学級実現のためにも学力の把握・調査は必要だ。